

ALC板ドライロッキング構法の目地ずれ変形に追従する合成目地消しテープ

NONCRA®A-C・J(目地消し)構法 PAT

外部壁塗装・左官仕上 ALC (薄モノ)

平成25年6月1日

技術相談窓口 株式会社ライビームシステム技術センター

TEL03-5346-2120 Fax03-5346-2127 携帯TEL 090-4518-139

ALC取付構法

縦・横目地幅すべて5mm目透かし張り構法
接合材頭部がパネル表面より7mm以上沈み込込み

STEP 1. ALC目地不陸検査・調整(別途工事)

施工管理：不陸調整1mm以内

- 取付免震基準：タテ・ヨコ目地5mm明け取付、ビス頭3mm以上沈め留付

STEP 2. ALC目地部切削平滑仕上 ~ 清掃

切削深さ：2~3mm 幅：一般部82mm 出隅部90mm

- ALC専用電動カンナ・ベルトカンナ・集塵機・手動タンガロイケレン棒・プロアー・ダスター刷毛使用
- 電動平カンナ：1900BA SP1 (マキ製) 切削幅82mm 超硬替刃セット：A-01775、超硬替刃のみ：A-01747
- 注意：切削面の凹凸は、テープの浮きとひび割れの原因！

STEP 3. ALC目地シーリング(別途工事)

乾燥・養生1日以上

STEP 4. ALC切削部NONCRA®シールプライマー#7塗

塗幅：80mm 2インチ中毛ローラー使用

- 注意：塗厚がないとテープが密着しにくい！

STEP 5. 免震伸縮接合テープNONCRA®A(粘着剤付)仮止め・ローラー圧着 ~ 離れ紙剥し ~

ステンレス鋼帯両耳ステンレスピンエタック留付固定 間隔：15~20cm

- 注意：ステンレス鋼帯に残留ひずみ・シワを残さず、下地に圧着留付固定！

STEP 6. テープ両耳ボンドエフレックスコーキングガン打ち ~ ヘラ押え仕上

回転式コーキングガン・ゴムヘラ&プラスチックヘラ使用

- 注意：テープのメッシュとステンレス鋼帯の耳が隠れる程度の厚塗とする

乾燥硬化1日以上

STEP 7. セメント接着増強材・吸水調整材ローラー塗

幅：30cm

- NSハイフレックスHF-1000 5倍液 (原液1：清水4)

STEP 8. ALC切削部ノンクラポリマーセメント塗仕上

鍍金コムヘラ使用 加水厳禁

乾燥・養生 1日以上

- 配合比：粉体 5kg (NSポリマーミックス#15) × 3袋 + 混和液 2kg × 3本 / 21kgセット 65~80M/セット

STEP 9. ALC切削部ノンクラポリマーセメント混和液入薄塗セメント仕上

鍍金コムヘラ使用

- 1回目：ALC切削部ヤセ不陸調整 乾燥・養生 1日以上
配合比：NSセボロン#20 25kg + ノンクラポリマーセメント混和液 2kg + NSハイフレックスHF1000 5倍液 調整

- 2回目：ALC切削周辺部壁面不陸調整仕上 NSセボロン#10 25kg 乾燥・養生 3日以上

以下別途工事

STEP 10. ALC全面不陸調整薄塗左官仕上~吸水止下地調整塗材塗

- 1回目：ALC不陸調整薄塗左官コテ塗仕上
下塗：NSポリマーミックス・セボロン#20+NSハイフレックスHF1000混入 鏡面仕上の場合 上塗：NSセボロン#10+NSハイフレックスHF1000混入
- 2回目(塗装仕上の場合)：合成樹脂系下地調整材塗：例、シーラーと下地調整を兼ねた「水性ソフトサーフSG (SK化研)」

STEP 11. 塗装・左官塗仕上

ALC下地用仕上塗料・左官メーカー仕様による

- 警告：「セメントフィラー吹付け」での下地調整は、ALCの吸込みでヤセが大きいため、結果的に平滑に仕上げた目地処理部が盛り上がり形成されてしまいますので、絶対に避けて下さい。
- 施工は、塗装技能工又は補修を専門とする一級左官技能士で、完全平滑仕上げを行って下さい

“NONCRA®A-C・J (ALC目地消し：塗装仕上) 構法” 施工フロー

